

（仮称）けいはんな万博開催準備会 発足

（仮称）けいはんな万博全体構想の実現に向け、（仮称）けいはんな万博開催準備会が発足。2022 年 10 月 27 日、第 1 回開催準備会がハイブリッド形式で開催され 40 機関が出席した。

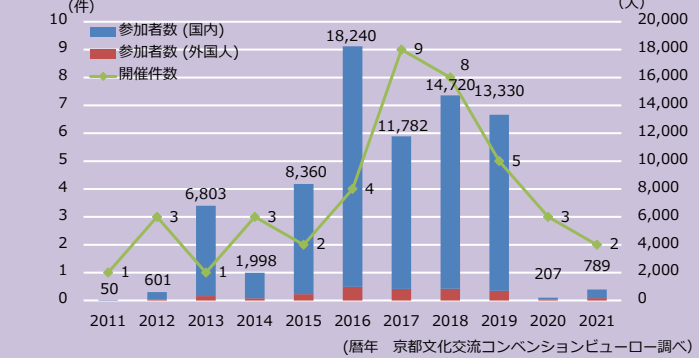
2023 年 3 月末時点で賛同機関は 96 機関。本都市内の立地機関だけでなく幅広い機関から賛同を得ている。



（KRI 撮影）

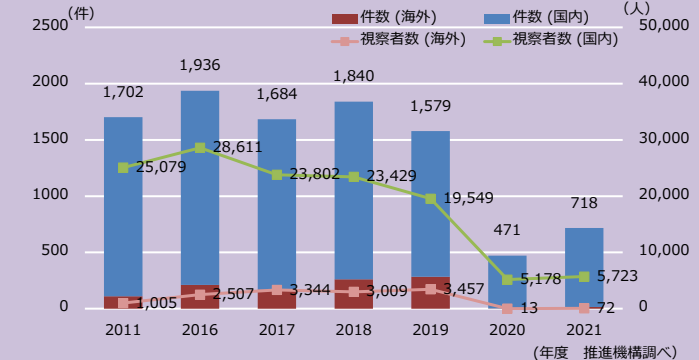
イノベーション推進 コンベンション開催件数・参加者数

本都市内で開催された国際会議件数及び参加者数。2020 年以降、水際措置の強化や緊急事態宣言等により減少。開催形態のひとつとしてリモート化が浸透してきている。



イノベーション推進 視察件数・視察者数

本都市に立地する主な公的・民間機関、大学が受け入れた視察件数及び視察者数。緊急事態宣言などの影響で、受け入れの休止や閉鎖される施設も複数あり、2020 年度は減少。



グローバルスタートアップ支援プログラム 「KGAP+」 (Keihanna Global Acceleration Program Plus)

2019 年度から ATR とけいはんなリサーチコンプレックス協議会が実施。国内外の連携機関を通してスタートアップが参加し、3 カ月間の活動により協業先を探索（累計参加数 13 カ国 117 社、マッチング成立 72%）。

2022 年度は、第 7・8 期を実施し 13 カ国 38 社が参加。海外展開を目指した特別プログラムを NY、ロンドン、バイエルンで実施（6 カ国 15 社参加）。京都スマートシティエキスポ 2022 において「KGAP+ SUMMIT 2022」も開催、連携機関とのパネルディスカッションと卒業企業ピッチと展示を実施。

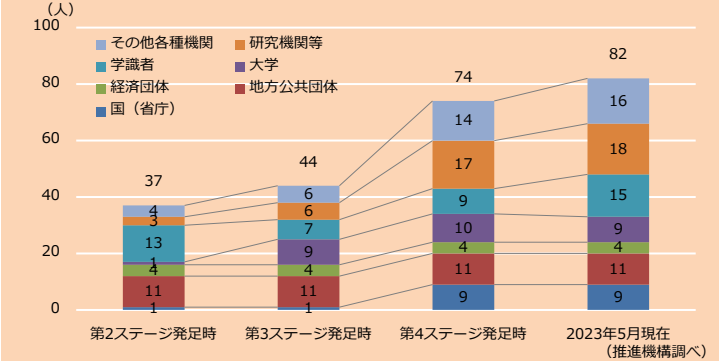


（ATR 提供）

都市運営

各ステージの推進体制と構成員数

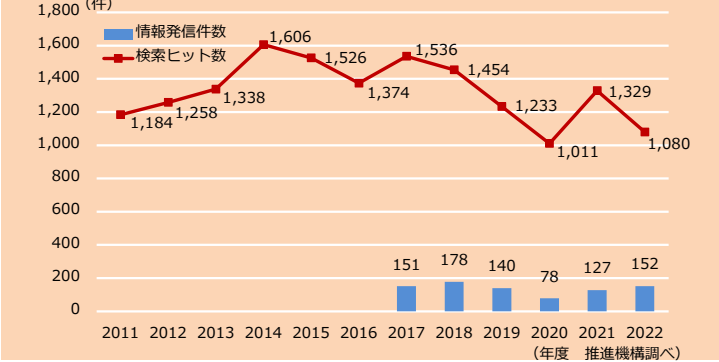
けいはんな学研都市「新たな都市創造会議」は、大学や立地機関等の参画が増加し、セカンドステージ推進会議に比べ構成員数は 2 倍に。



都市運営

マスコミを通じた情報発信件数・検索ヒット数

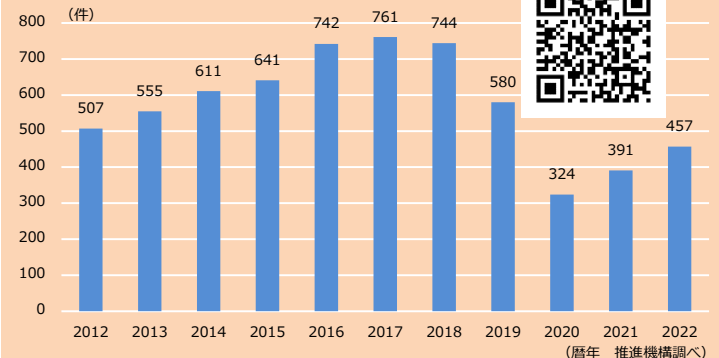
本都市に立地する主な公的機関及び大学等がリリースした報道資料件数と、日経テレコンによる新聞記事検索ヒット数。



都市運営

「けいはんなポータル」投稿件数

本都市に関するさまざまな情報を広く発信するニュース投稿型ポータルサイト。詳細とご利用は、下記の QR コードから。



SDG s 関連指標

持続可能な開発目標（SDG s）を達成するために示された我国の具体的施策にかかる指標に準じた、本都市内における該当指標。



100 万人当たりの研究者
本都市内では、
'22.4.1 現在で 1.35 万人。
<SDGs ターゲット：9.5>

海外との科学技術協力協定
本都市では、
'23.3 末現在で 191 件。
<SDGs ターゲット：17.6>

立地適正化計画
本都市 8 市町のうち、
'23.3 末現在で 2 市町が作成。
<SDGs ターゲット：11.3, 11.a>

けいはんな学研都市「新たな都市創造プラン」

けいはんな インジケーターマップ 2023

けいはんなインジケーターマップとは

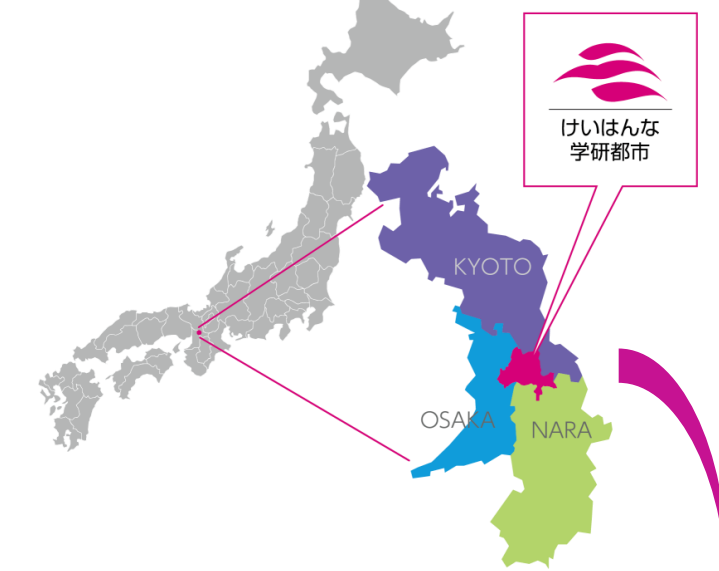
多様なステークホルダーによって推進されている「新たな都市創造プラン」の取組成果を、「けいはんな学研都市」全体として俯瞰的に評価する指標群。

関係する事業主体が成果を共有し、国内外へアピールすることで、都市全体の価値を高めるとともに、取組成果を関係機関それぞれの事業活動の新たな展開に活かしていくための取り組み。

2020 年以降、COVID-19 が世界的に拡大。あらゆる感染拡大防止対策が講じられ、人々の生活様式や意識が変化。けいはんな学研都市に於いても、様々な活動に影響を及ぼしている。

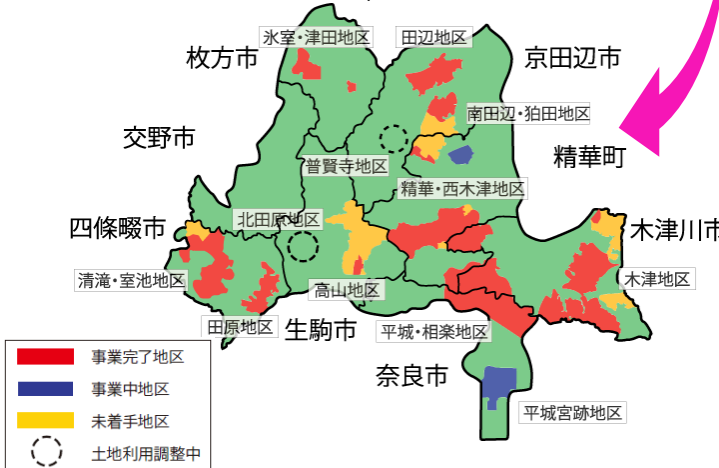
けいはんな学研都市の基礎情報

【都市の位置】



【各クラスターの整備状況】（2023.4 現在）

学研都市全域 15,000ha
内文化学術研究地区 3,600ha（12 クラスター）

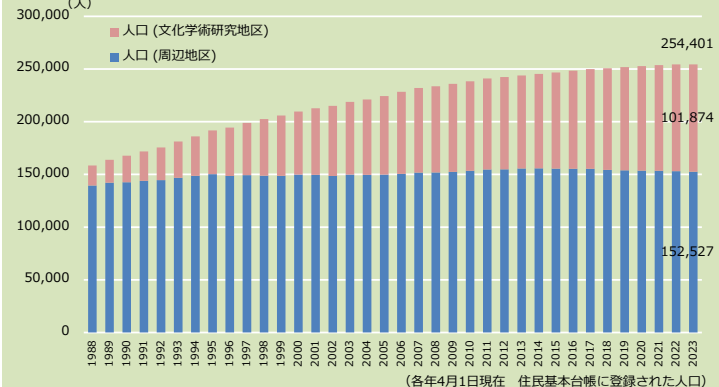


編集・発行 公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構（KRI）2023.5

都市形成

人口

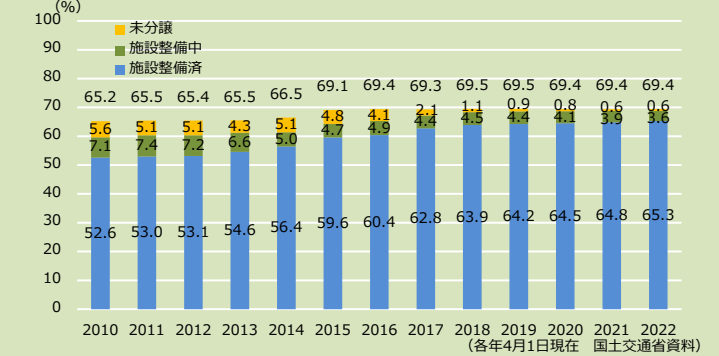
本都市内の人口は毎年増加しており、2023 年 4 月現在で 254,401 人。



都市形成

文化学術研究地区（クラスター）の整備率

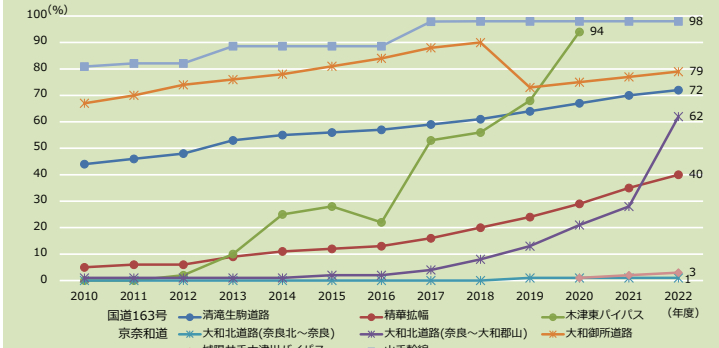
施設（文化学術研究施設、道路、公園、学校、住宅等）の整備進捗状況。整備した各種施設の敷地面積は、クラスター総面積の約 6 割。



都市形成

道路整備進捗率

国道 163 号と京奈和道、城陽井手木津川バイパスは近畿地方整備局ホームページ内の予算執行情報開示等による事業進捗率。山手幹線は京都府提供資料による供用延長の率。



南田辺・狛田地区の整備状況

12 の文化学術研究地区のひとつである南田辺・狛田地区は、京田辺市と精華町に跨って位置しており、中央部には京奈和自動車道が、また鉄道駅もほど近く交通アクセスが良好。

南田辺北地区には 2022 年 7 月時点で約 4,600 人が居住。

狛田東地区は土地区画整理事業が進んでおり、南田辺西地区や狛田西地区、南田辺東地区もそれぞれ整備が予定されている。



（Google マップより）

